

人工関節置換術を受けられる患者さんへ

～手術後の日常生活の注意点～

▼感染に気をつけましょう

・人工関節の感染は、治りにくく、悪化すると人工関節を抜去しなければならないことがあります。抜去した場合は、数ヶ月間感染が治まるまで経過をみなければなりません。そして、術後何年を経過していても、関節以外の原因から人工関節の感染がおこることがあります。感染が生じると、38度以上の発熱（個人差があり、あくまでも一般的な目安です）や、関節の痛み・赤く腫れる・熱をもつ等の症状が出現します。このような症状が続く場合は病院を受診してください。

・手術後の感染の原因は、空気中や皮膚から侵入する細菌のみではありません。体の抵抗力が低下すると、体内に存在した細菌が繁殖し、血流に乗って離れた部位で感染を引き起こすことがあります。風邪、尿路感染症、膀胱炎、虫歯、歯槽膿漏、水虫などにより血液中に菌が入り、人工関節に菌が付くことがあります。そのため、日常生活で感染予防行動を行い、早期に治療するようにしましょう。感染予防行動として、うがい・手洗いの励行、歯磨きの励行があります。また、創部は泡立てた石鹸で優しく洗い清潔を保つように努めてください。人工物が体内に挿入されているため、体調管理に気をつけてください。

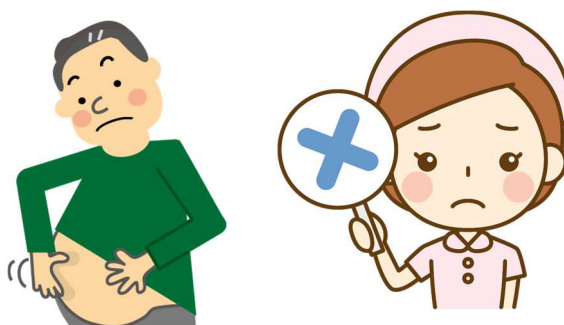


▼日常生活について

・体重について:体重が増えると人工関節の摩擦が生じ、ゆるみにつながります。その結果、関節の変形をきたします。関節の変形が進むと痛みが出現したり、他関節への影響も出てくる危険性があります。規則的でバランスのとれた食生活を意識し、標準体重を心がけましょう♪

$$\text{標準体重 (kg)} = \{\text{身長 (cm)} - 100\} \times 0.9$$

- ・リハビリ:自宅でも継続してリハビリを行い筋力低下を防ぎましょう。
- ・生活スタイル:和式の生活スタイルは関節への負担が大きいため、可能な限り、椅子、ベッド、洋式トイレなどの洋式スタイルに変更しましょう。



最後に、、、

・定期的に病院を受診しましょう

退院後も、レントゲン・血液検査・骨密度測定などの検査をする必要があります。人工関節のゆるみは、自覚症状を伴わず急速に進行する場合があるため、定期的に検査・診察を受けましょう。



整形外科病棟